# 斎賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 斎賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< <u>過睡眠は脳卒中の危険因子 | TOP | インフルエンザ流行の拡大 >></u>

## << 2020年03月 >>

火 水 木 金 土  $\Box$ 月 7 2 3 4 <u>5</u> <u>6</u> 10 11 12 <u>13</u> 14 9 16 17 18 19 20 21 15 23 24 25 26 27 28 22 29 30 31

#### 最近の記事

(03/13)前立腺癌の診断におけるMRIを用いた生検の有用性? (03/09)新型コロナウイルス患者の隔離室における汚染 (03/06)新型コロナウイルスには2つのタイプがある? (03/05)今季のインフルエンザ・ワクチンの効果 (03/04)院長の不適切発言に対してのお詫び

#### 最近のコメント

前立腺癌の診断におけるMRIを用いた生検の有用性? by (03/14) 前立腺癌の診断におけるMRIを用いた生検の有用性? by (03/14) 新型コロナウイルス患者の隔離室における汚染 by (03/09) 院長の不適切発言に対してのお詫び by (03/05) この時期の対応・その2素案 by (02/28)

#### タグクラウド

## カテゴリ

<u>小児科</u>(188) 循環器(197) <u>消化器・PPI</u>(115)

<u>感染症・衛生</u>(84)

<u>糖尿病</u>(109)

<u>喘息・呼吸器・アレルギー</u>(84) <u>インフルエンザ</u>(98)

<u>肝臓・肝炎</u>(60)

薬・抗生剤・サプリメント・栄養

### 2019年12月21日

結腸憩室炎の予防と食事の関係

#### 結腸憩室炎の予防と食事の関係

Association Between Inflammatory Diets, Circulating Markers of Inflammation, and Risk of Diverticulitis



アメリカでは70歳になるまでに約60%の人が結腸憩室炎に罹患するとの事です。 日本でも食事の欧米化に伴い増加傾向ですし、本院でも腹痛の重要な鑑別疾患となっています。 憩室炎の発生機序においては未だ明白でありません。又その予防に関しても確立されていないの が現状です。

今回、憩室炎の発生は、大腸の持続する軽度な慢性炎症によるとの仮説に基づき、その予防を論じた論文が掲載されていましたのでブログします。

1) 現在では一般的に受け要られている、「憩室炎は、大腸において炎症を抑制する善玉菌が減少する事により発生する」と言う説に則った論文です。

それに従えば、慢性炎症を促進する食事と慢性炎症の血液マーカーとの関係を調べれば、因果関係も分かるとの想定です。

慢性炎症を促進する食事としては大腸癌、心血管疾患、前立腺癌でも用いられている Empiric Dietary Inflammatory Pattern (EDIP) scoreを採用しています。 血液マーカーとしては、CRP、IL6、TNFRSF1Bを採用しています。

2) EDIPスコアとは、

EDIPスコアが上がる(炎症を促進する)食品は次の通りです。

- 加工肉・赤身肉・内臓肉・魚肉(背の青い魚を除く;イワシ・サバ・メカジキ・サーモンを除く)
- 淡色野菜・トマト
- 〇 精白穀物
- 糖類や人工甘味料を含有する清涼飲料水

EDIPスコアが下げる(炎症を抑制する)食品は次の通りです。

- ビール・ワイン・茶・コーヒー
- 赤色や黄色の根菜(サツマイモを含む)・色の濃い葉野菜
- 間食(スナック)・100%果汁のジュース・ピザ

EDIPのスコアが低いほど食生活の炎症度が低いとみなされます。 (ビール、スナック、ピザに関して量が問題の様です)

本論文のEDIPスコアと主要論文のPDFを下記に掲載します。 患者さん用のパンフは後日作成します。

3) 1986~2014年に掛けて、憩室炎のない男性を対象に46,418名を調べました。 血液サンプルは、1993~1995年に掛けて18,225名を調査しました。 憩室炎の発生は1110例で、EDIPスコアと比較しています。 一方で、炎症マーカーでは憩室炎310例とコントロール310例を比較しています。 指導(45)

<u>脳・神経・精神・睡眠障害(38)</u>

整形外科・痛風・高尿酸血症(29)

<u>ワクチン</u>(31)

<u> 癌関係</u>(10)

<u>脂質異常</u>(28)

<u>甲状腺・副甲状腺</u>(17)

<u>婦人科</u>(8)

<u>泌尿器・腎臓・前立腺(31)</u>

<u>熱中症</u>(7)

日記(17)

<u>その他</u>(64)

### 過去ログ

2020年03月(7)

2020年02月(18)

2020年01月(19)

2019年12月(14)

2019年11月(15)

2019年10月(18)

2019年09月(18)

**2019年08月**(14)

2019年07月(14)

<u>2019年06月</u>(16) <u>2019年05月</u>(14)

2019年04月(18)

**2019年03月**(19)

2019年02月(19)

2019年01月(15)

2018年12月(16)

<u>2018年11月</u>(20)

<u>2018年10月</u>(20)

<u>2018年09月</u>(18)

2018年08月(24)

2018年07月(18)

2018年06月(18) 2018年05月(20)

2018年04月(19)

2018年03月(20)

2018年02月(14)

2018年01月(14)

2017年12月(20)

<u>2017年11月</u>(17)

<u>2017年10月</u>(22)

**2017年09月**(18)

<u>2017年08月</u>(20)

**2017年07月**(23) 2017年06月(19)

2017年05月(19)

2017年04月(22)

2017年03月(20)

2017年02月(18) <u>2017年01月</u>(21)

<u>2016年12月</u>(17)

2016年11月(25)

<u>2016年10月</u>(22)

2016年09月(21)

2016年08月(20)

2016年07月(26) 2016年06月(27)

2016年05月(24)

2016年04月(24)

2016年03月(25)

2016年02月(23)

以降はカテゴリーで検索してくだ さい。

4) 結果はEDIPスコアと炎症マーカーをquintile(分位数)で表しています。 EDIPスコアが高いquintileでは憩室炎の危険率は1.31です。

	Quintiles of inflammatory potential of diet score					
	1	2	3	4	5	trend
Cases, n Person-years Model 2, HR (96% CI) Model 2, HR (96% CI)	206 100,675 1.0 (HI) 1.0 (HI)	209 106,327 1.10 (0.91-1.34) 1.12 (0.60-1.36)	213 194,922 1.12 (0.32-1.36) 1.18 (0.96-1.44)	200 100,071 1,12 (0,00-1,20) 1,15 (0,04-1,41)	250 199,005 1,30 (1,05-1,00) 1,31 (1,07-1,60)	.009
NOTE: The inflammatory participates promisers promisers provident by the Model I rate adjusted for a Model I rate adjusted for the Model I rate and the Mode	etary patterns, or a contribution, or or for body mass is smaking matu- i,	rement a lower stone vick erro. I video (+ 20,5, 20,5-34,5 i preser gropher, papi son n ster (me)/vol, acutamino	cates and effarematory di 15.0-21.4, 17.5-263, 30 ocker, purrent another (I- pher use (yes/ho), use of a	may patients. (0-54.8: ):56.6 type?, w 14, 15-04. ):25 organites	gorbus activity (6, 5 1-5.4 v16), storbul comuniques	3.5-10.4 fb. 0-43

1がスコアが低く、5がスコアが高い食事です。

炎症マーカーではCRP、IL6に関連性はありましたがTNFRSF1Bは低いようです。

	Quintiles of biomarter levels					
	1	2	3	4	5	P trend
ORP, mgst.	and to	No Cityons	desci	407115	JOR We	
Median	0.29	0.60	5.10	5.82	4.29	
Case/serings	45/62	71/60	40/54	27/61	71/62	
Model 1, RR (90% CB	1.0 yeb	1.72 (1.08-2.67)	1.00-(0.01-1.91)	1.83 (1.10-0.00)	186-000-280	.75
Model 2, RR (80% CB	1.0 (945)	1.00 (1.10-0.2%)	1.19 (0.65-2.18)	2.12 (1.22-0.68)	1.85 (1.04-0.00)	.16
E.E. pg/mc						
Shedian	0.46	0.62	0.81	1.17	1.00	
Cassinortrol	47/81	\$7.4E	79/62	5442	79/62	
Model 1, RR (88% CB	Life Inet	1.01 (0.75-0.00)	1,79 (0.99-0.09)	1.59 (0.73-2.2%)	1.90 (1.00-0.40)	26
Model 2, RR (85% CS	1.0 (ref)	122 (0.67-2.21)	1.82 (1.00-3.33)	1.39 (0.76-2.54)	204 (1.09-3.84)	.06
THEREFIEL PHINS.						
Median	1708	1901	2017	2500	2177	
Case/control	60/61	52.62	56/52	56-62	86.62	
Model 1, RR SSN, CS	1.0 av6	0.64 (0.90-1.42)	0.90 (0.53-1.98)	0.90 (0.95-1.87)	1.45 (0.87-2.41)	.06
Moder 2, RR (90% CB	1.0 m/s	6.88 (0.01-1.5%)	0.96-0356-1.09	0.95 (0.55-1.64)	1.60-0.87-2.56	27

又、体重(BMI)と運動との関係ではEDIPスコアの方が関与しているようです。

Table 3. Inflammatory Potential of Diet and Risk of Diversioulitis in the Health Professionals Folioe-Lip Study According to Lifestyle Characteristics

	Quintiles of inflammatory potential of diet score						Ptor
	13	2	3	4	16	trend	interaction
Sody mass index		accus and the	Date of the San	0.00 PU = 1U = 1	ette saaraa ku		.00
<25 kg/m² (n = 400), HR (95% CB	1.0 (mt)	1.00 (0.73-1.36)	1.10 (0.84-1.80)	1.01 (6.73-1.41)	132 696-186	.12	
25 Agree" (n - 708), HR (90% CB	1.0 046	1.21 (0.94-1.00)	1.20 (0.60-1.66)	1.27 (0.89-1.84)	3.34 (0.04-1.72)	.03	
Vigorous activity							25
No (n - 523), HR (95% CI)	1.0 (re5	1,22 (0.91-1.64)	1.03 (0.01-1.00)	1.27 (0.96-1.78)	126 0.94-1.69	.13	
Yes in - 587), HR 69% CS	T.O dreft	1.06 (0.81-1.56)	1.14 (0.87-1.50)	1.07 (0.81-1.49)	1.39 (1.06-1.82)	- 403	

5) 結論としては、食事のEDIPスコアと慢性の炎症マーカーのCRP、IL6が、男性における憩室 炎の

発生予測に関係していました。

私見)

憩室炎の予防に関しては諸説あり、混乱してしまいます。

UPTODATEによりますと運動、ダイエットも重要な予防因子としていますが、

本論文ではやや相殺されています。

取りあえず、緑の葉野菜、濃い黄色の野菜、コーヒーと紅茶を勧め、赤肉、加工肉、洗練された 穀物、

甘い飲み物は控えるよう指導します。

患者さんのパンフは大阪から帰ってから作成します。

それまでは、だからと言ってビールの飲み過ぎに注意してください。

O Association Between Inflammatory Diets Circulating Markers of .pdf

1 本論文.pdf

2 Association Between Inflammatory Diet Pattern.pdf

3 PubMed Central, Table 1 Gastroenterology. 2017 Dec; 153(6) 1517?1530.e14. .pdf

4 NIHMS902982-supplement-supplement 1.pdf

RDF Site Summary RSS 2.0



この記事へのコメント

悲鳴と言えば...

昨日、楽しみに取っておいたCoCo壱番館監修のカップ麺を出来上がって開けてみたら、思いの外お湯が減っていたので、片手で持ってお湯を足そうとして、手を滑らせてカップをひっくり返しちゃったんですよ( ̄□ ̄;)!!

カップ見たらなんにも残ってなくて、キャーじゃなくてギャーって絶叫でしたよ(゜ロ゜;

Posted by at 2019年12月22日 02:56

コメントを書く

お名前:

メールアドレス:

ホームページアドレス:

コメント:

